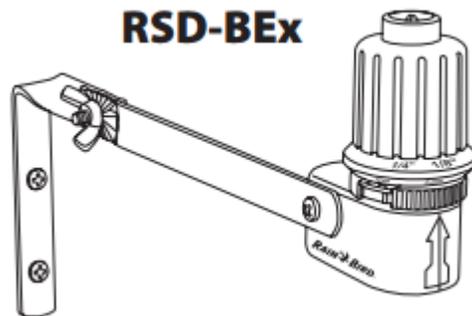


# **RAIN BIRD®**

## **RSD Rain Sensor**



## レインセンサー 取扱説明書



**関東イリゲーション株式会社**  
KANTO IRRIGATION CO.,LTD.

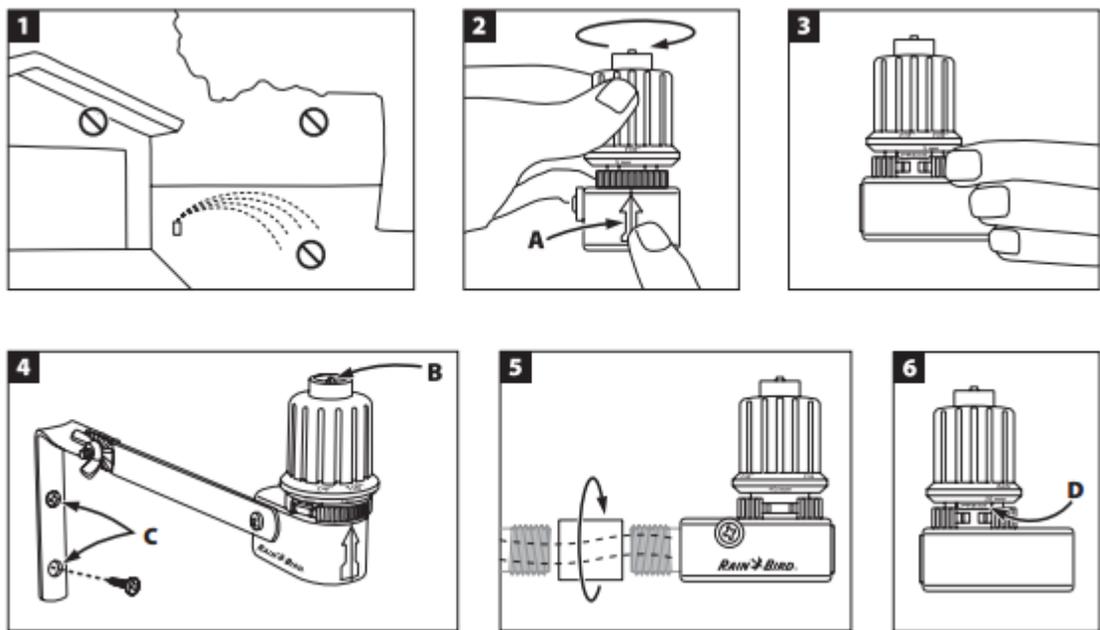


図1. 設置位置について

自然の雨量を計測するために、人工物または自然物による障害のない場所で、かつ風の影響が少ない場所に取り付けてください。

注意: 木々の下では葉、ごみ、虫などが入る恐れがあります。  
スプリンクラーの近くでは散水の水が入る恐れがあります。

図2. レインセンサーの設定方法

ダイヤルを回してAの位置に降雨量を設定して下さい。(5mm～20mm)

図3. 乾燥時間の設定

降雨後、レインセンサーが感知した水量を乾燥させる時間を設定できます。  
通常は図3のようにセンサーダイヤルキャップ(通気口)の位置にリングの隙間を合わせてください。乾燥時間を延長する場合は、通気口をふさいでください。

図4. 設置方法

コントローラーとレインセンサーの設置距離は付属ケーブルの7.6m以内として下さい。  
取付はネジで固定できる場所に設置して下さい。  
レインセンサーは水平に設置して下さい。

図5. 別モデル(ケーブル管などで設置するタイプ)設置方法の説明 ※省略

図6. メンテナンス

基本的に定期的なメンテナンスは必要ありません。  
葉、ごみ、虫などが混入した場合は、ダイヤルを回して、「PRESS」を押しながらダイヤルキャップを外して、フィルターや本体を掃除して下さい。  
フィルターを水洗いした場合は、乾燥するまでは散水が停止致します。  
十分乾燥してから再度、正しい設置方法でご使用ください。